

『中江藤樹・たかしまミュージアム』を訪れて

企画広報委員会 藤原 浩之

去る六月一日にオープンした「中江藤樹・たかしまミュージアム」を見学してきました。

従来の「近江聖人中江藤樹記念館」がリニューアルされ、中江藤樹とその教えエリア、地域で守り受け継がれてきた歴史資料などを展示するエリア、映像コンテンツで高島の多様な文化を学べる多目的エリアで構成されています。



まず入口近くの高島の歴史や文化を15分程度の映像コンテンツで学ぶことができます。

遺跡の名前や文化財の名前は聞いたことがあるものの、その由来や歴史的な事実など知らないことを学ぶことができました。高島市で鉄（鉄

鉱石）が採れたことは知らなかったので、製鉄遺跡が数多く残っている理由が理解できました。



映像を見終えた後に入った高島の歴史と文化を展示するエリアでは、まず最初に、縄文、弥生時代の遺跡が数々展示され、その時代からこの高島の地に人びとの営みがあった事が分かります。継体大王にまつわる遺跡、高島に深い関わりのある佐々木氏や織田氏にまつわる遺跡など、それぞれの時代と共に歩んできた高島の歴史を知ることができました。

そして、中江藤樹とその教えを展示したエリアへ進みます。



まず、中江藤樹の生涯が簡単にまとめられ、藤樹先生が少年の頃から学ばれた「大学」「中庸」「論語」等の書物が展示されています。

儒教や陽明学についての説明も展示されています。

また、藤樹先生の著作である「翁問答」や「鑑草」が

展示されています。読みやすい言葉で書かれた「翁問答」を読んだ事があるので、この原文を読む



ば（なかなか読むことは難しいですが）、深い学びができるかもしれないと感じました。

藤樹先生の教えは、子どもたちにも分かるような内容で展示説明なされ、「孝」「致良知」「五事を正す」「知行合一」などを簡潔に説明されています。

また、藤樹先生の生涯や教え、逸話などが12分程度の映像コンテンツで見ることができ、誰もが簡単に藤樹先生のことを知ることが出来ます。これらの展示を入口として、藤樹先生のことを深く学ぶ人が増え、藤樹先生の教えが広がっていくことを願うばかりです。



高島藤樹会よりの中江藤樹先生紙芝居も展示されています

中江藤樹・たかしまミュージアムを見学された方々の感想をお待ちしています。